## 山田健太が語るFocusFlowへの感想と要望

いやー、これは本当にすごいな！正直、これまでいくつもタスク管理ツールを渡り歩いてきたけど、FocusFlowはこれまでの常識を覆すかもしれない。今日の俺の激務を振り返ってみて、FocusFlowがあればどれだけストレスが減って、もっと深い仕事ができたかって考えると、ゾクゾクするよ。

### FocusFlowへの率直な感想

まず一番感動したのは、\*\*「フォーカスモード」\*\*のコンセプトだね。本当に「今やってることに集中しろ」っていうメッセージが強力に伝わってくる。今日の午後なんて、緊急対応に追われながらも提案書のドラフト作成もあって、頭の中がごちゃごちゃだった。ああいう時に、余計な通知や他のタスクが目に入らない環境って、本当に精神衛生上も生産性も段違いだと思う。

それから、\*\*「メモファースト」\*\*の思想も素晴らしい。朝会でも顧客会議でも、メモを取りながら「これ、後でタスクにしないと」「あの資料と紐づけたいな」って考えるんだけど、結局後回しになって見失うことが多かった。[[Task:○○]]みたいに、その場でサッとリンクを貼れるのは、思考の流れを止めずに情報を整理できるから、俺みたいなタイプには本当に助かる。これが「知的資産」になるって感覚、すごくしっくりくる。

\*\*「オーガナイズモード」\*\*でタスクの計画や振り返りができるのもいい。特に「時間見積もり」と「実績時間」の乖離を可視化してくれるのは、感覚じゃなくて数字で自分の働き方を見つめ直せるから、きっと次の計画に活かせるはずだ。

そして何より、**PC、タブレット、モバイルそれぞれのデバイス特性を考えてくれてる**のが、現代の働き方に合ってる。移動中はスマホでクイックメモ、会議中はタブレットでメモを取りながら資料参照、深く集中したい時はPCのフォーカスモードでガッツリ作業。これが全部シームレスに繋がるなら、もう他のツールは要らないね。

### 山田健太からの要望

ここまで完璧に近いと感じるけど、さらに俺の仕事にフィットさせるために、いくつか要望を挙げさせてもらうよ。

1. **「プロジェクトワークスペース」の強化と横断検索の利便性向上:**
   * プロジェクトごとにワークスペースを切り替えられるのは最高だ。だけど、俺の場合、同時に複数のプロジェクトを抱えてるし、過去のプロジェクトのナレッジを現行PJに活かすことも多い。
   * **要望:** フォーカスモードやオーガナイズモードからでも、\*\*「他のプロジェクトの特定のメモやタスクを素早く検索して、中身を参照できる機能」\*\*をもっとシームレスにしてほしい。例えば、フォーカスモードのミニウィンドウでのクイック参照で、検索範囲を全プロジェクトに広げつつ、検索結果を絞り込むフィルター（プロジェクト名、タグ、日付など）をパッと使えるようにするとか。完全に集中を妨げない形で、必要なときに他のコンテキストの情報にアクセスできる工夫が欲しい。ディスカバーモードに行けばできるのは理解してるけど、もう少し手軽に、集中を切らさずにアクセスできると嬉しい。
2. **外部連携の「ストレスフリー」な実現:**
   * 今はまだ個人利用とのことだけど、いずれチームで使うことを考えた時に、チャットツール（Slackなど）やカレンダー（Google Calendarなど）との連携は避けられないと思う。
   * **要望:** これらの外部ツールからの\*\*「通知の粒度をFocusFlow内で細かくコントロールできる機能」\*\*が欲しい。例えば、「緊急度が高いものだけフォーカスモード中でも表示」「特定のキーワードを含むチャットのみサマリー表示」など。FocusFlowの「ストレスフリーな環境」というコンセプトを維持したまま、外部からの情報を取り込める仕組みがあれば、まさに最強だよ。
3. **PKM機能の「視覚的育成」のさらなる進化:**
   * ディスカバーモードの「グラフビュー」はすごく魅力的だ。俺の思考がどう繋がってるか可視化されるのは、きっと新たなアイデアの源になる。
   * **要望:** このグラフビューで、単なる繋がりだけでなく、**「よく参照されているメモ」や「関連性が高いとシステムが判断するメモ」が視覚的に際立つような表示や、「まだ繋がりが薄いけど関連しそうなメモ」をサジェストしてくれる機能**なんかがあると、もっと知的生産性が上がりそうだ。情報の「死蔵」を防いで、常に生きている知識として育成できるような工夫に期待してる。

FocusFlowが完成したら、俺のワークスタイルは間違いなく変わる。このプロジェクト、本当に応援してるよ！